

レジメン名称: リツキシマブ+ベンダムスチン(90)q4w CD20 陽性悪性リンパ腫

ID _____ 患者氏名 _____ 様 (性別 _____)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 年齢 _____ 歳 体表面積 _____ m²

HBs 抗原 (+ -) HBc 抗原 (+ -) HCV 抗体 (+ -)

薬剤	投与量	投与日
		1 コース 4 週間
		1 コース目
		Day 1 2・・・8・・・15・・・22・・・29
リツキシマブ	375 mg/m ²	↓
ベンダムスチン	90 mg/m ²	↓↓

(リツキシマブ添付文書では併用療法時は最大 8 回)

レジメンオーダー以外に必要な処方

ロキソプロフェン(60) 1錠 1× 1日分 リツキシマブ投与前

フェキソフェナジン(60) 1錠 1× 1日分 リツキシマブ投与前

デキサメタゾン 8mg 2日分 day3~4 (制吐目的)

ニューモシスチス肺炎予防に ST 合剤 (ダイフェン) 投与を検討

腫瘍崩壊症候群のリスクが高い場合、フェブキシソスタット投与を検討

注意事項

リツキシマブ: インフュージョンリアクション (気管支痙攣, 蕁麻疹, 低血圧, 意識消失, ショックなど) に注意。

前処置薬は必須 (抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤)、点滴速度に注意してください。

ベンダムスチン:

保存する必要がある場合には、室温保存では6時間以内、2~8℃保存の場合は24時間以内に投与を終了すること。

血管痛や静脈炎、血管外漏出に注意すること

(次ページあり)

投与方法：1日目	
1	ロキソプロフェン(60) 1錠 内服 <u>リツキシマブの30分前に</u>
2	フェキソフェナジン(60) 1錠 内服 <u>リツキシマブの30分前に</u>
3	生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、止める
4	<u>ロキソプロフェン、フェキソフェナジン投与 30分してからリツキシマブ開始</u> <u>リツキシマブ</u> mg、生食、適量 (10倍希釈以上、総量 600mL を超える場合は生食 1000mL を使用) メインルートから投与 初回：50mL/h から開始、患者の状態に変化がなければ、30分毎に 50mL/h ずつ、最大 400mL/h までアップ可能 <u>速度変更時に体温、脈拍、血圧測定</u> 2回目以降：初回に有害事象が grade 2 以下の場合、2回目以降は 100mL/h より開始し、30分毎に 100mL/h ずつ、最大 400mL/h まで速度をあげることができる。 <u>速度変更時に体温、脈拍、血圧測定</u>
5	生食 100mL メインルートから ウォッシュアウト、ゆっくり、ルートキープ 15分ほど リツキシマブの点滴速度を越えないこと
6	パロノセトロン(0.75 mg/5 mL) 1V、デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A、生食 100mL、30分で メインルートから 終了後、メインルートを止める
7	<u>ベンダムスチン</u> mg、生食 50mL 10分かけて点滴 ケモセーフロックのルートより投与
8	生食 100mL メインルートから ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄

投与方法：2日目	
1	ケモセーフロックの点滴セット使用 生食 100mL ケモセーフロックの点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たし、止める
2	デキサート(3.3mg/1.0mL) 3A、生食 100mL、30分で メインルートから 終了後、メインルートを止める
3	<u>ベンダムスチン</u> mg、生食 50mL 10分かけて点滴 ケモセーフロックのルートより投与
4	生食 100mL メインルートから ウォッシュアウト ゆっくり、適宜途中終了可、残は破棄